

獣医師生涯研修事業のページ



このページは、Q & A形式による学習コーナーで、小動物編、産業動物編、獣医公衆衛生編のうち1編を毎月掲載しています。なお、本ページの企画に関するご意見やご希望等がありましたら、本会「獣医師生涯研修事業運営委員会」事務局までご連絡ください。

Q & A 公衆衛生編

質問1： リスクアナリシスの3つの要素の組み合わせで正しいものはどれですか。

ア. リスクマネジメント

食品中の危害要因を摂取することによって、どの位の確率でどの程度の健康への悪影響が起きるのかを科学的に評価すること

イ. リスクアセスメント

リスク評価の結果に基づいて技術的な実行の可能性などを考慮し、規格・基準の設定などの政策・措置を決定実施すること

ウ. リスクコミュニケーション

リスク評価の結果やリスク管理の選択肢について情報を共有しつつ、消費者、生産者（農家、加工業者など）、流通、小売りなどの事業者、行政機関などがそれぞれの立場から情報や意見を交換すること

質問2： 次の用語について定義を正しく記述しているのはどれですか。

ア. FSO

工場出荷時での食品中のハザードの汚染頻度または濃度であって、その食品を摂取した結果としての健康被害がALOPを超えない最大値

イ. ALOP

衛生保護対策によって達成され、その国が国民の

保健を守る上で、適正であると認められる公衆衛生上のレベル

ウ. PO

喫食時での食品中のハザードの汚染頻度または濃度であって、その食品を摂取した結果としての健康被害がALOPを超えない最大値

エ. PC

POまたはFSOを満たすように、管理対策によって達成される食品中のハザードの汚染頻度または濃度に与える影響

質問3： 次の質問のうち、リスクマネジメントにおいて考えなければならないものはどれですか。

ア. どのくらいの確率で、その食品安全上のリスクは発生するか

イ. 何が、その食品安全上のリスクを起こすのか

ウ. 可能なリスクマネジメントオプションを行うことに、どのような負担が生じるか

エ. どうして、その食品安全上のリスクが生じるのか

オ. このリスクの起こりやすさ、またはインパクトを低減させるために何ができるか

カ. どんな質問に、リスクアセスメントから回答してもらうか

(解答と解説は本誌857頁参照)

解 答 と 解 説

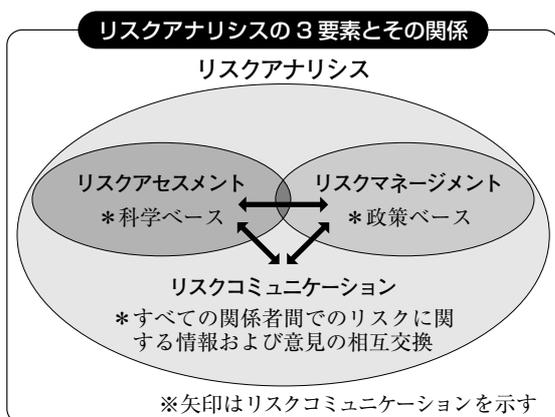
質問1に対する解答と解説：

正 解：ウ

リスクマネジメントとは、リスク評価の結果に基づいて技術的な実行可能性などの状況を考慮し、規格・基準の設定などの政策・措置を決定実施することです。

リスクアセスメントとは、食品中の危害要因を摂取することによって、どの位の確率でどの程度の健康への悪影響が起きるかを科学的に評価することです。リスクアセスメントは、リスクマネージャーが実施すべき被害軽減対策を決定するわけではありません。リスクマネジメントが取るべき手段について、リスクに基づく透明性のある判断をするための材料を提供するのが、リスクアセスメントの役割です。

リスクコミュニケーションとは、リスク評価の結果やリスク管理の選択肢について情報を共有しつつ、消費者、生産者（農家、加工業者など）、流通、小売りなどの事業者、行政機関、大学等の学術研究者などがそれぞれの立場から情報や意見を交換することです。



質問2に対する解答と解説：

正 解：イ、エ

FSOは「消費時点での食品中のハザードの汚染頻度と濃度であって、その食品を摂食した結果とし

ての健康被害がALOPを超えない最大値」と定義されています。

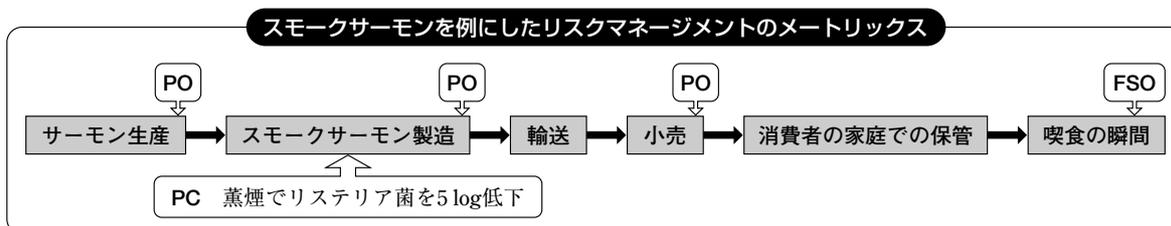
FSOは消費時点での食品の汚染状況の目標値を規定するものですが、その状況に至るまでにはフードチェーンに沿ってさまざまな微生物学的事象が関与しています。そこで、消費以前の工場出荷時や流通段階等それぞれの段階における汚染状況の目標値とその目標を達成するための具体的な指標として、PO又はPCを設定することができます。

ALOP（衛生植物検疫上の適切な保護の水準）は、「加盟国の国民、動物あるいは植物の生命あるいは健康を守るための衛生あるいは動植物衛生対策により達成され、その国と国民により適正であると認められる保護レベル」と定義されます。公衆衛生上の水準としては、単位人口当たりの年間発症数として表現されますが、食中毒の発症者数として受け入れられる人数と考えるよりも、近い将来に減少目標として設定される人数とした方が考えやすいでしょう。ALOPの設定に当たっては、疫学情報やリスクアセスメントの結果に基づいた、十分なリスクコミュニケーションが必要です。

POは達成目標値(Performance Objective：PO)です。生産段階や製造直後など、フードチェーンの消費以前の段階でのハザード汚染の状態に関する目標値をPOと言います。コーデックス委員会では、POの定義を「FSO及び適用可能な場合にはALOPを満たすように、フードチェーンのそれぞれの段階で許容される最大の汚染頻度又は濃度」とされています。

PCは達成基準(Performance Criterion：PC)です。

具体的にある段階でのPOを達成するために、PCが設定されます。例えば、ある食品の加熱段階で細菌数を 10^6 個減らすこと、などがPCです。コーデックス委員会によるPCの定義は「POあるいはFSOを満たすように、管理対策によって達成されるべき食品中のハザードの汚染頻度又は濃度に与える影響」とされています。



ICMSFから一部改変

質問3に対する解答と解説：

正 解：ウ、オ、カ

ア、イ：リスクアセスメントの基本的な質問です。リスクアセスメントとは健康被害の発生確率及びその重篤性を科学的に推計する過程であり、何がリスクを起すかを確定することは最初のハザードの同定の一部となります。

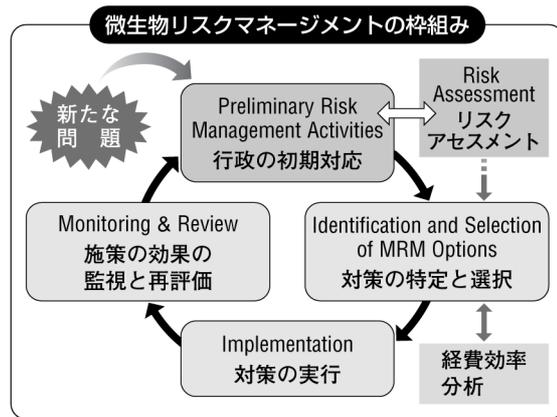
ウ：リスクマネジメントオプションを選択する際には、あるリスクマネジメントオプションを行うことにより、そのオプションの実施者に別のリスクが発生したり、経済的な負担が生じることがありうるので、リスクマネジメントの過程でこれらの点を検討する必要があります。

エ：リスクアセスメントの暴露評価が行う上で、ハザードがどのような過程で食品中に汚染、増殖または生残してヒトに暴露するのか、このシナリオを考え、モデルに組み込む必要があります。

オ：リスクを低減させるためにどのオプションを選択するかをリスクアセスメントの結果、実効可能性、費用対効果等を考慮して判断することがリスクマネジメントの本質です。

カ：リスクマネジメント上の判断を行う上で、科

学的なリスクアセスメントの結果を活用し、リスクに基づく科学的かつ透明性のある判断が求められます。このためにリスクアセッサに検討してもらうリスクマネジメント上の特定の質問をリスクアセスメント実施前に考えるのはリスクマネジメントの初期活動の一部です。



キーワード：Risk analysis, risk assessment, risk management, Food Safety Objective, Risk management new metrics.

※次号は、小動物編の予定です